

まほろば

Vol. 4 くろしお

「まほろば」とは、素晴らしい場所・住みやすい場所という意味。まほろばな黒潮町で頑張る人や団体にスポットを当て、紹介するコーナーです(隔月掲載予定)。



有限会社ソルティープ

2代目 塩守 吉田 拓丸さん

海水、太陽、風、そして人の手で作られる「天日塩」。自然の恵みを活かした製法で作られる貴重な天日塩は、黒潮町の特産品の1つ。町では現在、5つの事業所で塩作りが行われています。

ご両親が大阪府から黒潮町に移住し、天日塩作りの仕事を見て育った吉田さん。2代目「塩守」として塩作りに携わる思いを聞きました。

吉田さんはいつから天日塩作りを?

大阪市出身なのですが、僕が3歳のとき両親が「田舎で子育てをしたい」と移住し、天日塩の仕事を始めたんです。僕は中学を卒業してすぐ天日塩作りを始めたかったです。両親に反対されて、高校を卒業後また反対されて、京都の大学に行きました。その後、大阪でダイビングインストラクターなどの仕事を経て、平成21年にUターンし、天日塩作りをスタートしました。外に出て、自分がいる環境が尊いものだと実感しました。この土地でなければ塩作りはできなかつたと思います。黒潮町に感謝して、これからは恩返しをしていきたいと思っています。

吉田さんが作る天日塩のこだわりは?



塩の攪拌作業をする吉田さん

夏は約1カ月、冬は約2カ月、毎日塩のお世話をします。1日として同じ日はないので、日々の変化を感じることを意識しています。日照時間の関係で夏が生産量が多いですが、季節によって味が違います。春はふわっとしていて口どけが良い塩ができますよ。また、粒の大きさで商品に分けているのも僕たちのごころならではのこだわりです。取引

先によって、料理によって、使い方も異なってくるので、大事にしているのは、自分の中に明確な塩の味のイメージを持っておくこと。理想の塩を作る上ではとても重要なことだと思っています。



結晶化が進む

天日塩作りの魅力は?

塩作りはともロマンチック。人は海(塩)を取り入れないと生きていけない。その大きな循環の中の一つで海を補給するお手伝いをしている実感を持てる仕事です。「塩作りはテクノロジーじゃない。フィロソフィーだ」。父の言葉ですが、この考えは、大事にしたいと思っています。

天日塩作りの流れやポイントなど、広報に掲載しきれない内容や取材の裏話を町公式Facebookに掲載します。裏表紙のQRコードからご確認ください。

地域子育て支援センター通信

地域子育て支援センターでは、子育て中の親子が安心して地域で暮らし、子育ての喜びを分かち合い、保護者や子どもたちが交流できる「場」の提供をしています。育児の悩みや日々の暮らしの相談に乗り、楽しく子育てができるようにお手伝いします。お気軽に遊びに来てください。



【活動内容】

★フリーデー

毎週月曜日～金曜日
午前9時～正午、午後1時～午後4時45分
室内遊具や絵本など親子で自由に楽しめます。

★子育て相談

毎週月曜日～金曜日
午前9時～正午、午後1時～午後5時
電話相談、来所相談、家庭訪問を行います。

★いっしょに遊ぼう

毎週木曜日
誕生日会や季節の制作などいろいろな行事をみんなで楽しめます。

★佐賀おでかけ広場

毎週火曜日
佐賀地域へ出張します。
親子で自由に楽しめます。

【利用対象】

町内在住(もしくは祖父母が在住)で、主に保育所・幼稚園に通っていない就学前の乳幼児とその保護者(家族)。また、妊婦の方、里帰り中の方。

4月の予定

★佐賀おでかけ広場

毎週火曜日
午前9時30分～午前11時30分
場所 保健センター 拳ノ川
☎55-7373
(悪天候の日はおでかけできない場合があります)

★いっしょに遊ぼう

・9日(木) 絵本のよみかせ
・16日(木) 作ってあそぼう
・23日(木) 誕生日会
午前10時～午前11時30分
場所 地域子育て支援センター

★第1回「子育て講座」

30日(木)
午前10時30分～午前11時30分
場所 地域子育て支援センター
内容 「0才からのトミックとペタペタアート」
講師 上岡 純子さん
(悪天候の日はお電話でご確認ください)

○お問い合わせ 地域子育て支援センター(大方中央保育所内) ☎43-0512